



喜田道先生と行く「えびせんべい」歩き

「喜田道 帰(きたみち かえる)先生」と生徒の「歩(あゆむ)君」
 「美歩(みほ)ちゃん」が、「駅からウォーク」で歩いた「えびせんべい」を毎月皆さんに紹介しています。

第7回目は、4月26日に開催した『67番札所大興寺と鑄造産業の歴史を訪ねるウォーク』を紹介します。

皆さん、こんにちは。この連載を参考にどこかに行かれましたか？

今回は、JRの駅のない山本町で初めて駅からウォークを開催しました。

四国霊場88ヶ所の第67番札所大興寺と第70番札所本山寺の2カ所と歴史のある鑄造産業にスポットを当てた、こだわりのコースを企画しました。

当日は本山駅に集合して、最初のポイント四国霊場第70番札所本山寺へ。



本山寺の五重塔



昨年、開通したばかりの西光寺橋。欄干のカニは、原鑄造所の作品です。

五重の塔を目指してウォーク。駅前なのにのんびりしていたね。そうだね。のんびりした駅通りを歩いて本山寺に到着。

約2万㎡の広大な境内の中には国宝に指定された本堂をはじめ、二王門(国指定重要文化財)や五重塔など、歴史を感じさせるさまざまな建築物があったね。本山寺を出発して、財田川沿いの道



えびせんべいを試食



西光寺橋の沢ガニのモニュメント

を行くと爽やかな風が気持ちよかったね。途中の水辺公園で休憩を取り、新しく架け替えられた西光寺橋へ。ここでは、原鑄造所で製作した沢ガニのモニュメントを見学。

橋を渡ったらいしそうな匂いがするえびせんべい工場へ。いろいろな種類の試食は、おいしかったね。ぼくは、しよう味のえびせんべいが一番おいしかった。



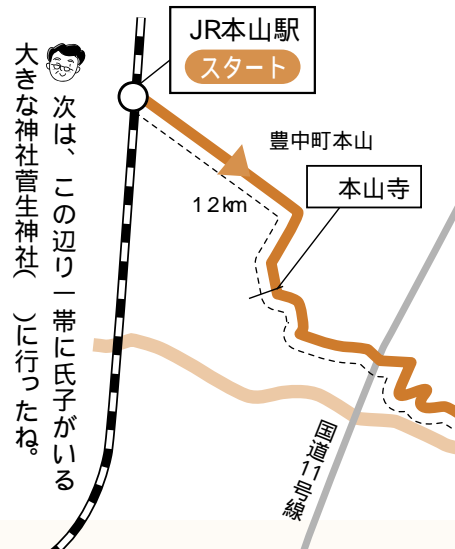
原鑄造所

おつまみに最高！おみやげにいっぱい買ったよ。帰りに、えびせんべいのプレゼントもいただいたよ。出発してゆるやかな坂を上ると、原鑄造所へ到着。創業400年以上の歴史があり、日本の美術鑄造を受け継いできたそうだよ。また、江戸時代には、朝廷から「勅許御鑄物師」の勅許状も賜り、数々の作品を世に送り出してきたそうだよ。

なんと原鑄造所のご先祖は、近江の国から諸国にその技術を広めるために、室町時代に讃岐に移住してきたそうなんだよ。

広い工房の中に入ったら銅像の型枠がいっぱい。見たことのある歴史上の人物や政治家の人たちがいっぱいいたね。歩くんや美歩ちゃんも、銅像を作ってもらえるくらい有名なんじゃないといけないね。

私は、ちょっと恥ずかしいかな。僕は、作ってほしいな。見学後、鑄造製品のプレゼントをいただいたね。ぼくは寛永通宝の文鎮をもらったよ。私は、招き猫のオブジェをいただきました。



次は、この辺り一帯に氏子がいる大きな神社菅生神社()に行ったね。



菅生神社の長い参道

鳥居から拝殿までの参道が長かったね。到着して、すぐに宮司さんが神社の説明してくれました。
新しくてびかびかの神社が印象的でした。
広い境内の森には、楠の木やシダ、コケなど100種類もの植物が生息していて、国の天然記念物にも指定されているそうだよ。また、県内では、ここだけにしか生息していない「カンザブドウ」の木は貴重なものなんだよ。



大興寺

ここでお弁当を食べたあと、次は、四国霊場第67番札所大興寺()まで行つたよ。
ゆるやかな坂道を一気に歩いて大興寺に到着。歓迎してくれたのは、仁王門の金剛力士像でした。これは88力寺のうち最大で、今にも動き出しそうな迫力は圧巻です。



ここは「小松尾寺」という愛称で呼ばれ、822年に空海が建立したといわれています。
仁王門から本堂までの歴史を感じる石段は、楠の木などの木々に囲まれ、神秘的な印象でした。



本堂に参拝した後、ご住職さんからお寺の歴史などのお話があり、鎌倉時代の藤原経朝筆の扁額()を見せてくれました。



鎌倉時代の藤原経朝筆の扁額

大興寺を出発して、鑄造産業に係が深い観音寺市原町の「金神社」と「大通寺」に立ち寄りしました。

大通寺には、原鑄造所のご先祖のお墓があったよ。
そのあと、観音寺市総合運動公園で休憩を取って、ゴールのJR観音寺駅まで一気に歩きました。
今回は、鑄造産業の歴史やお寺などにスポットを当てたウォークでした。

地元人のポイント

徳永 和司さんからのメッセージ

山本町には、今回立ち寄った場所のほか、ボタン寺として有名な「葉王寺」や、こんびら参拝でにぎわった伊予街道沿いの「辻」の古い町並みなど、お薦めの場所がいくつもあります。
ぜひ、山本町にお越しください。お待ちしております。

アクセス 今回のコース

行き
三豊各地からコミュニティバスで、JR本山駅までお越しください。

JR本山駅へは、財田観音寺線をご利用ください。

帰り
JR観音寺駅からコミュニティバスで、三豊各地へお帰りください。

JR観音寺駅からは、財田観音寺線・仁尾線が出ます。

本文を参考に仲間や家族と一緒に思い思いのウォークを楽しんでください。
問い合わせ

商工観光課 62・1129

